

いつもお世話になります。秋の気配が色濃くなり、今年もあと3ヶ月と少しになりました。1年を24時間で考えれば、今は18時頃。24時まで残り6時間となります。海外ドラマの「24 (TWENTY FOUR)」みたいですが、こうして別の数字に置き換えてみると、面白いことに物事の優先順位がはっきり見えてくる気がしますね。

トレンドを斬る!

疲れたビジネスマン&ウーマンの中で秘かな人気スポットとなっているのが「点滴バー」。もちろんこれは医療行為で、医師の

問診を受けたあと、腕にズブッと刺されることとなります。基本メニューのビタミン点滴と初診料で3000円。オプションには疲労回復、パワーアップ、美白・ダイエット等があります。そのアイデアもさることながら、病院の「点滴」とお酒を飲む「バー」を組み合わせたネーミングは、毎日でも会社帰りに立ち寄りたいたい!という気にさせますね。



365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」!

今月の商売のヒント: 【顧客満足度を知る究極の質問】

顧客は移り気です。ちょっとしたことですぐに離れていきます。「女心と秋の空」と言いますが、秋の空模様のように移り変わりやすいのは顧客も同じこと。と言うより、私情の入らないビジネスライクな関係であれば、顧客はある意味「女心」より手強いかもしれません。



顧客離れを防ぐには商品やサービスの質の向上はもちろん、きめ細かいアフターフォローが欠かせません。その1つとして「顧客満足度アンケート」を行っている会社もあるでしょう。商品やサービスに満足しているか、不満や要望はないかをあの手この手で聞き出し、顧客との関係を強化する。または今後の営業活動に役立てる。至って筋の通った話ですが、アンケートの回答を集計すれば顧客満足度が分かるかと言えば、残念ながらそうでもなさそうです。自分が答える側になって想像してく

ださい。自分に直接メリットのないアンケートに、どれほどの真剣さで回答するでしょうか。やたらと項目の多いアンケートなど、途中から適当になりはしないでしょうか。知りたい側と答える側の温度差は、無意味なデータを作り出すだけです。顧客満足度を知るための究極の質問。それは…。

「この商品(サービス)を親しい人に勧めますか?」

人は、自分が良いと思ったものを他人に勧めたくなります。親しい間柄なら尚更です。「人に勧めたい度数」を点数で表してもらい(例:10点満点で8点)、そのデータを定期的集計する。点数の低い顧客は何らかのフォローをするか、場合によっては顧客リストから削除する判断が必要かもしれません。逆に常に点数の

高い顧客は、商品やサービスを勝手に推薦してくれる“外注口コミ営業マン”であり、熱心なファンです。さらに喜んでもらえるようなフォローで、より親密な関係を結びたいものです。秋の空模様のような女性の心をつなぎとめるのは男性のママさだと言う人がいますが、相手の要望を無視した闇雲な男性は、ただの迷惑な人です。顧客に対しても、真の満足度を把握すればこそママなフォローができるのではないのでしょうか。



今月のあなたの運勢

鑑定：妙慎

A型

雑用に追われ、何かと忙しい1ヶ月になりそうです。スタミナ切れしないよう健康管理には注意してください。

B型

落とし物に注意！！特に、お財布や印鑑など大切なものはしっかり管理するよう日頃から心がけてください。

O型

身体のだるさは、夏風邪からきているのかもしれない。早めに治療をして、万全な体調に戻しましょう。

AB型

運気は上々です。仕事がたまっている人は、運気の良いこの時期に一気呵成に片付けてしましましょう！

痛快!

画：村田かなこ

えだまめ君



知っところ! 「税務のママ知識」

【新税制導入で「出生率低下」をストップ!?!】

少子高齢化がますます進んでいく日本です。その状態が続くと現役世代が減って高齢者が増えるため、現役世代の負担がだんだん重くなっていきます。今現在3人で1人の高齢者を支えている状態が、2025年には「2人で1人を支えなくてはいけない」という予測もあります。



そんな少子高齢化の現状を打開するため、以前にある国会議員が「独身税の導入」を提案したことがあります。この「独身税」ですが、その昔ブルガリアで少子化対策として実際に導入されたことがある税金なのです。ブルガリアは、人口800万人ちょっとの国で、少子高齢化による労働人口不足という大きな問題を抱えていました。そこで考えられた税制が、独身の人に対する「独身税」というものだったのです。この「独身税」は、1968年から1989年の21年間にわたって導入され、収入の5～10%の税金を徴収するというものでした。ブルガリアでは「独身税」導入後、思惑通り既婚率が増加し出生率も増加・・・となればよかったのですが、残念ながら出生率は、2.18から1.86となってしまったようです。「独身税」をもってしても、出生率の減少を食い止めることは、なかなか困難だったようです。なんでも増税といったペナルティ式の方法ではなく、違った形での問題解決が必要なのかもしれませんね。

サラリーマン妻
川柳

仲人さんは
二人三脚
でと言った
けど...

二人三脚
ほどこいた
方が
走りやすい

斉藤会計事務所

〒160-0022

東京都新宿区新宿 1-23-8 タチハラビル 501

電話：03-5368-8761

FAX：03-5368-8763

サイト：<http://www.saito-kaikei.co.jp>



アメリカ映画を楽しみながら交渉のヒントを探る「映画に見る交渉術」のコーナーによるこそ！

皆さんは誰かと話をしているとき、「この人、今、上の空だな」「なんだか、すごく楽しそう」「きつそうだけど、大丈夫かな」などと感じたことはありませんか？

実は、この「相手の気持ちを感じる」こそ、交渉を始めるときに押さえておくべきとても大切な要素なのです。人はいつも本音を口にすることは限りません。しかし、人の体はさまざまなシグナルを通じて心の様子を表現しています。つまり、相手を知る手がかりは、あなたの目の前にあるということなのです。

今回は「相手の気持ちを感じる」をテーマに、コメディ映画「フォーチュン・クッキー」(原題:Freaky Friday)から台詞をご紹介します。

“I don’ t know what’ s going on here. 「ぼくには何が起きているのか、
I don’ t know what this whole thing is. 一体何がどうなっているのかわからない。
I just, I feel like I know you.” (だけど) 君を知っているような気がする”

(by ジェイク)

--- 「フォーチュン・クッキー」 2004年日本公開

母テス (ジェイミー・リー・カーティス) は、再婚を目前に控えて大忙しの精神科医。娘のアンナ (リンジー・ローハン) は、母の再婚に反発する15歳の高校生。

母の結婚式2日前の大喧嘩をきっかけに、そんな二人の体が入れ替わってしまいます。母と娘はやむなくお互いの姿で生活を始めるのですが…。タイミングの悪いことに、アンナは同じ高校に通う憧れの男の子ジェイク (チャド・マイケル・マーレイ) と共通の趣味であるロック音楽を通じて仲良くなり始めたばかり。ご紹介した台詞は、ジェイクが母親の姿になってしまったアンナと偶然カフェで再会し、思わず口にした言葉です。

アンナは自分が40代の母親の姿をしていることを忘れ、ジェイクと無邪気に語り合い、一緒に歌を口ずさみます。(アンナは、母テスのクレジットカードを使って流行のファッションやヘアスタイルでテスを「ファンキーで素敵な女性」へと変身させています) 40代の女性と高校生の男の子が楽しそうに語り合う、可愛いらしくもあり、見ているほうが気恥ずかしくもなるシーンです。

しかし、「ジェイクと大好きなロックの話ができて楽しい」という15歳のアンナの素直な気持ちがテスの姿を通じてあふれ出していたからこそ、ジェイクは「君を知っている」と感じたのです。

気持ちはいつも体を通じて表現されています。緊張すると周りの人にその緊張が伝わるのと同じように、心の動きは、目の輝きに、手の動きに、姿勢に、自然と表れてしまうものなのです。その気持ちを素直にキャッチしましょう。

相手の心を読み取ろうとする必要はありません。あなたは、ただ体をリラックスさせて相手に意識を向けるだけでOKなのです。そこで感じたことをベースに、自分はどの行動するべきなのか、いま何を言えば良いのか、を考えてみて下さい。言葉やデータで相手の意図を確認するのは、それからでも遅くはありません。

交渉が上手い営業マンたちは、この「言葉では表現されない」相手の体から発せられるものを見事に感じとったり、逆に自身の体から発したりすることが非常に上手いのです。



お忘れなく！ 10月は、健康保険料及び厚生年金保険料の改訂月です。

7月に提出した算定基礎届に基づいて9月分からの健康保険及び厚生年金の保険料が確定しましたが、その保険料の徴収が10月から始まります。10月分の給料計算の際に**改訂保険料**で徴収することをお忘れなく！又、9月分からの厚生年金の保険料率が15.35%に引き上げられていますので、**算定基礎届によって等級が変わらなくても、厚生年金保険料は変わります**ので注意が必要です。

さて、今回のお話は～ **社会保険制度の目的**です。

前回お話しました種類、すなわち医療保険、年金保険、労働保険（労災保険、雇用保険）、後期高齢者医療制度のそれぞれの目的について、お話します。

医療保険（各種健康保険） 被保険者やその家族（被扶養者）の病気、怪我、死亡、分娩について医療費等の給付を行う。

年金保険 被保険者の老齢、傷害、死亡等を事故原因として年金等の給付を行う。

労働保険 被保険者の業務上の怪我、死亡についての医療費等の給付や被保険者の失業や雇用継続が困難となった場合の必要な保険の給付を行う。

後期高齢者医療保険 75歳以上の高齢者を対象とした医療保険で被保険者の病気、怪我について医療費等の給付を行う。

以上ですが、昨今のこの目的が一部脅かされつつある現実には不安、不満を抱きつつ 完！

☆決算書の読み方☆

柳川裕子

貸借対照表の見方としても一つ重要なことは、「**推理力**」です。数字が増えたとか減ったとかいう場合には必ず理由があります。

そして、過去にはなかった科目が発生していたら、それもまた何か原因があるはずで、普通は文章から数字が作られていくものだと考えますが、数字から内容を推理してみましょう。

たとえば以下の科目をみてください↓↓

・**売掛金と買掛金**…比較して売掛金が異常に多い場合→不良債権があるか**仕入条件がよくない**（＝経営が苦しい）??



・**棚卸資産と買掛金**…棚卸資産が異常に多い→**商品の回転が悪い**??

・**仮払金残高**…資産としてみるが、異常に多い場合は**経費精算が遅れている**??（＝支払）

また、以下のようなものが発生していると、貸借対照表に計上されている資産の金額と実際の資産価値との間に違いが生じてきます。

・**不良債権**（受取手形・売掛金で長期にわたって回収できてない→**資金繰りに影響**）

・**滞留在庫**（棚卸「資産」という名だけど、要は**売れ残り**のお荷物）

・**含み損**（有価証券。購入当時の金額で記載されているので、**価値が下がっている**場合もありうる）

・**担保**（有価証券や定期預金が担保になっていると、資産であっても**現金化できない**）

↑これらはみな、資産の項目に含まれます。どれくらいこれらが含まれるかということではなく、こういったものも含まれるかもしれないという前提で読んでいくことが重要です。